

トランスサイレチン型心アミロイドーシスにおける血管機能、心機能の解析に関する研究

1. 研究の対象

2021 年 1 月～2024 年 11 月にトランスサイレチン型心アミロイドーシスの確定診断がついた方、また、対照群として、高血圧性心疾患もしくは肥大型心筋症と診断された方。

2. 研究目的・方法

トランスサイレチン型心アミロイドーシスはアミロイドが心臓に沈着して心不全など心疾患を発症する予後不良な疾患ですが、^{99m}Tc-ピロリン酸（PYP）シンチグラフィーでの診断が普及して、近年急速に患者数が増えてきています。アミロイドーシスでは低血圧や皮膚病変が問題になることが多いのですが、これまでアミロイド沈着が血管機能に与える影響については調べられていないのが現状です。

本研究では、トランスサイレチン型心アミロイドーシス患者の血管機能および心機能の両者を解析し、症状や予後との関連を検討することを目的とします。トランスサイレチン型心アミロイドーシスと診断された症例（対象期間：2021 年 1 月～2024 年 11 月）を対象に、下記情報について検討します。また、対照群として、高血圧性心疾患もしくは肥大型心筋症と診断された 40 症例についても同項目を検討し、アミロイドーシスに特徴的な所見を評価します。

研究実施期間：研究実施許可日～2025 年 9 月 30 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2025 年 1 月 28 日

3. 研究に用いる情報の種類

心不全兆候についての問診、年齢、性別、既往歴、内服薬、診断名、診断日、心エコー検査、血圧脈波検査、ピロリン酸シンチ、血液検査(BNP, NTproBNP, TropI, Hb, BUN, Cre, eGFR)、心電図

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
秋田大学医学系研究科 循環器内科学講座
研究責任者 佐藤 和奏
住所：〒010-8543 秋田県秋田市本道1丁目1番1号
電話番号：（平日 8時30分～17時00分） 018-884-6110

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科
研究科長 羽渕 友則